

一般質問

遅々として進まぬ

交通体系の整備

田中 文夫 議員



**【質問】** 安心安全のシンボル新佐渡総合病院が容姿を現してきたが、アクセス道路整備等が遅滞しているが。

**【建設課長】** 国道バイパスについては、金畑線までは今年度中に完成できると聞いている。

**【交通政策課長】** 通院患者のため金井小学校体育館跡地にバスロータリーを計画、本線から金井4号線に入って病院から市役所というルートも検討中である。変則五差路交差点の用地問題もあり、開院時は現行通り8路線33便である。

**【総合政策課長】** 金井小学校跡地を駐車場にする。中央図書館との連動についてはまだ検討していない。

**【質問】** 車による広域性、利便性の確保が新市の前提になっている。高齢ドライバーの増加を考えるとマイ

カーから公共交通機関への転換が必要。認識を変える意味で、ノーマイカーデーを提案してきたが教訓を得たか。

**【交通政策課長】** 一昨年から年1〜2回実施してきたが本年は、継続性を持たせるため、7月から9月までの間に、25日から30日、連続でやる。市職員は率先して取り組み民間の方にも協力を求めて実施する。

**【質問】** 東日本大震災後の佐渡市経営について問う。未曾有の困難に対するに、危機意識を欠いた国政が展開されているが、佐渡市は大丈夫か。

**【市長】** 結論から言うと同段階では影響を受けていない。

**【財務課長】** 財源の4割を占める公債特例法案が通らない事態は考えられない。4

月1日公共事業の5%留保要請はあるが今のところ支障なく事業執行が行われている。

**【危機管理主幹】** プロジェクトチームを立ち上げ、根本的な地域防災計画の見直しを行っている。防災完備の保

険的なものでなく、災害発生時に被害を減らせる減災を考えている。  
**【地域振興課長】** 北埠頭についてはこれから設計段階に入るので、津波対策も含めて検討する。



奥尻島の津波避難施設

一般質問

津波・原子力発電への

対策は万全か

廣瀬 擁 議員



**【質問】** 東日本大震災で釜石市大川小学校の教員の対応が明暗を分ける結果となったが、マニュアルと現場の対応の評価と、佐渡市の児童・生徒への今後の防災教育への取組みを問う。

**【教育長】** 現場の現状を理解していないので評価はできないが、情報によれば、統一的な確かな判断ができなかったことが問題とされている。避難訓練を計画的、実践的に実施し、災害時に安全且つ迅速に、的確な対応ができるよう各種災害に

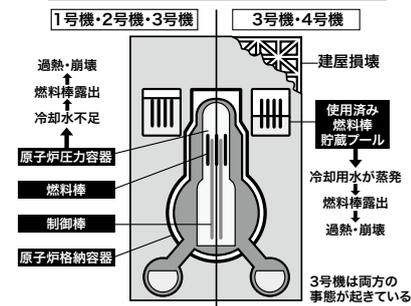
に遮るものがない佐渡島民の緊急避難はどうするか。また、東電、保安院、政府発表がまちまちだが、どの報道を基準に市は対応するのか。

**【市長】** 震災に起因した福島原発の事故は、起こり得ない想定外の事故が現実となったもので、しかも避難範囲が30キロを超え一向に収束の方向性が見えない。原発は安全であると信じていたことが根底から崩される事件であり衝撃を受けている。

対応ができるよう各種災害に応じた訓練をするよう指導していく。児童・生徒数や地理的要因が異なるが、各学校の実情にあった各種災害マニュアルを作成するよう指導していく。

**【質問】** 原子力防災避難区域は10キロであるが、現状は30キロである。しかし海上

福島第一原発事故の様子



一般質問

# 防災と福祉のまちづくり

## ここ重要

中川 直美 議員



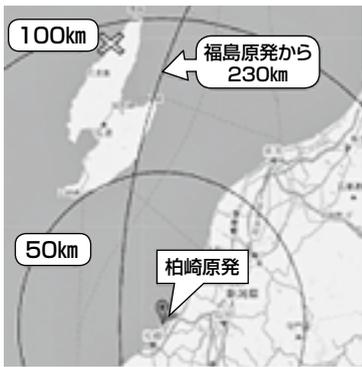
**【質問】** 高野市政の評価と次期市長選への対応は。

**【市長】** 7年間の環境にやさしい島づくり等が効果を上げています。市長選は、まだ先のことであり、与えられた役割を果たす。

**【質問】** 市の計画では常備消防や支所を大幅削減しているが、これでは大規模災害に対応できない。

**【市長】** 大震災は見直す機会になったので、見直していく。

**【質問】** 消防本部の津波対策や原発対策は十分か。



**【消防長】** 10 m程度なら、2階に司令室があり支障はない。

**【危機管理主幹】** 現在、原子力災害対応計画はない。

**【質問】** 放射能検知器が佐渡にないのでは。

**【危機管理主幹】** 外海府に1器あるが、今回の事故対応ではない。市独自の検知器は準備している。

**【質問】** 佐渡は柏崎原発から50 km圏内だが、万が一の時の被曝を防ぐヨウ素剤は。

**【危機管理主幹】** 現在、佐渡には置いていない。

**【質問】** 地震での家屋や避難所の耐震化を進めるべき。また、孤立集落への対策は。

**【危機管理主幹】** 地域の456か所の一時避難所の耐震化は考えていない。孤立集落対策のマニュアル等は、早急に検討する。

**【質問】** 国民年金で入所できる特養や通所リハビリでない市民への対応が必要。

**【高齢福祉課長】** 低所得者が入所できるように他市を参考に検討している。リハビリ対応施設の位置等を精査し検討していく。

**【質問】** 入湯税は「ぜいたく税」が性格で、他の事例を見ても引き下げが必要では。

**【税務課長】** ホテルや旅館、福祉向上の施設もあり、これらを含め研究する。

**【質問】** 民間譲渡した施設は、3年目以降知らないという問題は問題である。また、障がい者に頑張ってもらおう雇用の場としての位置づけが必要では。

**【市長】** 非常に厳しい運営とと思うが民間の工夫で乗り切ったもらいたい。できるだけ社会的弱者の支援をしていきたい。

一般質問

# 警察関与の疑い事件と生保不正通報の顛末

加賀 博昭 議員



**【質問】** ここに平成19年5月17日付けの「強姦未遂事件」で負傷した被害者の診断書がある。当時被害者は佐渡東署に「被害届」を出したが警察は「上申書」(加害者を許すという文書)の提出がなければ受理できないと握り潰した。その後、被害者は私に依頼した。平成23年6月1日に双方の言い分を聞いた結果、ある事件を隠ぺいするための謀議集団が、弁護士を使つての脅迫。東・西警察の誤認捜査があつた事実が証拠によつて説明された。その証拠は市長に提示してある。改めて市長の答弁を求め、この質問

害女性性は3年間かけて加害者の身辺調査を行つて、生活保護費の不正受給を発見、匿名で市に通報した。市はその後匿名者の名前を知つたが、不正受給者の調査が進まないことから、通報者の抗議が続き、その仲介を提出した。平成23年6月1日に双方の言い分を聞いた結果、ある事件を隠ぺいするための謀議集団が、弁護士を使つての脅迫。東・西警察の誤認捜査があつた事実が証拠によつて説明された。その証拠は市長に提示してある。改めて市長の答弁を求め、この質問

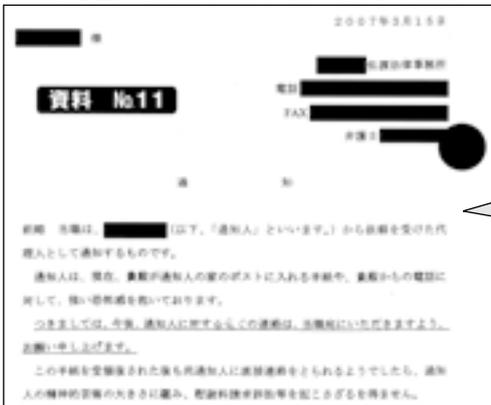
を聞いている通報者に言いたい。弁護士が残した証拠の「合意書」に内容証明で事件の内容を残せることになっている。悪さをした警察官の実名も残せる。それで通報者の名誉を回復してほしい。

**【市長】** 生活保護費の不正受給の発見に通報をいただき感謝したい。通報後の職員の対応に誠実さが欠けていたことについてもおわびする。今後、誠実な対応に努めるよう職員を指導していく。

**【質問】** 最近、温泉料金が500円から600円になっている。この100円の値上げで客は激減している。入湯税150円を免除すれば500円以下にできる。入湯税免除か、同額補助か対応されたい。

**【市長】** 検討したい。

### 弁護士が依頼人にだまされて作った文書



通知文書は集団謀議の結果だと依頼者が事実を暴露。取り消して欲しいと要請。その際、警察官も関与したと述べたと言ふ。(弁護士をだまし、警察とも通じる謀議集団とは何者)

この中核を暴露された後も同通知人に謀議集団をとられるようでしたら、通知人の精神的苦痛のたまりかたに鑑み、慰謝料請求訴訟等を起こるを得ません。



一般質問

岩崎 隆寿 議員

# 想定される津波への 対応を考えているか



**【質問】** 安心・安全の島づくりに  
おいて、先の東日本大震災における津波被害を踏まえ、今後、想定される津波への対策は考えているか。

**【質問】** リフォーム助成事業について、来年度以降は継続するか。

**【建設課長】** 来年度以降の実施については、今回の3次募集も含め、経済対策の検証をしっかりと行なって、判断していきたいと考えている。

**【市長】** 現在、地域防災計画を見直す方向で、プロジェクトチームを立ち上げていく。特に津波については各重要綱、ハザードマップ等の見直しを行うと共に、避難指示の伝達体制、手段を早急に整備する必要があるのである。

**【質問】** 市民観光ガイド利活用について。

**【市長】** 質の向上と同時にガイドしてもらえ、安心感等を宣伝も含めて、地域の自分たちの仕事と一緒にできるようなガイドの仕事であると考えている。



リフォーム助成事業



奥尻島の防波堤



一般質問

村川 四郎 議員

# 今なぜ、グラントデザインが 必要なのか



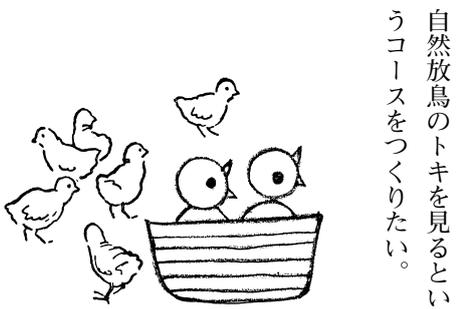
**【質問】** 合併後8年も経て、なぜグラントデザインが必要なのか非常に不可解だ。

**【市長】** 平成21年作成の将来ビジョンに基づき相川地域グラントデザインを作成し、施設整備計画を進めている。今年度は佐渡を4ブロックの都市計画マスタープランに分け、地域の気候、地形、産業などの特色を生かしたグラントデザインを作成中である。

**【質問】** グラントデザインとこれまでの未来ビジョン・マスタープラン・総合計画・将来ビジョンとどう違うのか。

**【総合政策課長】** 多くの計画があるが、総合計画は、行政運営の基本方針の最上位計画との位置づけであり、将来ビジョンは合併特例債期限後の平成31年までの計画。都市計画マスタープランは都市計画法に基づき計

画となつていて、産業振興の面からアジアに何を求め、何を期待するのか。アジア認定で佐渡の農業をどう変えるのか。  
**【市長】** 佐渡の農業、農村風景、文化が重要で保全すべきものとして世界に認められたことを誇り、今後地域座談会、市TVなどの活用で理解を深めていく。  
**【質問】** 後継者育成への農業振興と公社のあり方を見直すべきだ。  
**【市長】** 農業研修生を36人受け入れ、就農定着者16人、現在は震災雇用や緊急雇用対策を活用し、研修生を8人受入れている。高齢化による後継者の育成ではなく、後継者の実質的確保が必要で島内外の受入れを積極的に行い、公社、農協出資法



一般質問

金田 淳一 議員

## 水産業の振興と 公共施設の統合について



**〔質問〕** ナンバンエビ漁の個別漁獲量割当制度導入支援の内容は不十分である。その詳細と今後の取組みは。

**〔市長〕** 全国初の取組みであり、個々の船ごとの漁獲制限量を決め、網目を大きくしてより大きなサイズを漁獲し、所得の向上と資源管理を促進するものである。

**〔農林水産課長〕** 漁業者の不安があり、県もいろいろ協議したが、操業エリアがしっかりしていて総体的な資源管理が可能な赤泊・多田地区を対象とした。最終的には、籠・網の補助と利子補給という形になった。

**〔質問〕** 知事は当初、農業同様にも所得補償を打ち出したがなぜ無くなったのか。

**〔農林水産課長〕** あくまでシミュレーションだが、5年後の平成28年には漁獲量自体は減少するものの、エビの

サイズが大きくなるので、水揚額は向上するとの見通しが理由と聞いている。

**〔質問〕** 大きなエビを付加価値を付けて高く販売する工夫が必要だが、どう対応するのか。

**〔副市長〕** 小さい物を取らず、大きい物を取るのに基づき、付加価値を付けるのは、絶対に大事なことだ。今後議論し確実に対応していきたい。

**〔質問〕** 学校統合により通学が遠距離になり不安を感じている保護者がいる。中学校の場合、休日・長期休暇にも部活動などが行われるが対応できるのか。

**〔学校教育課長〕** 現在の中学校、スクールバスを運行している学校では、夏休み中についても平日は運行している。なお、土日については家庭・地域との関わりを

持つ日ということ、運行していない。

**〔質問〕** 現在、統合を検討中の赤泊小学校のPTAから、スクールバスの説明について不満が出ているが、踏み込んだ対応はできないのか。

**〔学校教育課長〕** 土日については、他の学校も原則運行していないので、統合を理由にこの地区だけ特別認めるとはいかなるものかと考えている。

**〔質問〕** 火葬場の統合により不便になる地区への支援策がいつこうに示されないか、どう対応するのか。

**〔環境対策課長〕** 3施設5炉の稼働を25年末に予定しているため、早い段階で説明をしたい。

一般質問

祝 優雄 議員

## 海上自衛隊誘致の必要性



**〔質問〕** 日本海を中心に位置する佐渡は領域の確保と経済水域の保全に重要な役割を果たしてきており、国境離島の最前線に「国を守る備えの無い事」は国際的に見ても非常識である。海上自衛隊の誘致と耐震バース、水深12m以上の港湾施設をセットに国と折衝すべきである。また護衛艦には、災害派遣を任務の一つに加え、医療・入院施設を常備、緊急時に病院船として活用できるものもある。東日本大震災の被災地と離島の被

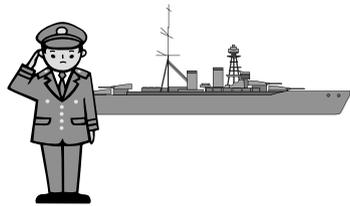
害をつぶさに見てきた市長の率直な感想と覚悟のほどを聞きたい。

**〔市長〕** 海上自衛隊誘致について、佐渡が万が一のときの支援に基地を佐渡に置く、それにあわせ岸壁の整備を国に進言したらということであるが、具体的に国防に深く関わっており、国民を守る立場にある自衛隊が佐渡で本場に活動できるのかということもある。今回、8月28日の市の防災訓練ではそういう意味で、海上自衛隊も含めて、初めて自衛隊3隊が参加することになった。4月6日、被災地での救援に向かう自衛隊の隊列を見たが、目を覆うばかりの惨状の中で身を挺して作業をする自衛隊のそばで、おばあさんが手を合わせ立ち尽くす姿を見て、

佐渡がこのようとき、支

援が本当にも考えさせられた。派遣された自衛隊員は10万人と云うが、離島では支援の手が及ばず、沖から米軍の上陸用舟艇から支援を受けた。いつまでも安全な日本であるという幻想は無残にも否定された。佐渡市には何でもやるという考え

がある。被災地での救援に向かう自衛隊の隊列を見たが、目を覆うばかりの惨状の中で身を挺して作業をする自衛隊のそばで、おばあさんが手を合わせ立ち尽くす姿を見て、



佐渡がこのようとき、支

